

会員の皆様、つつがなくお過ごしのことと拝察致します。年々夏の暑さが『国内観測史上初めての暑さ』を更新している様ですが、猛暑を乗り越えて、『酷暑』というぴったりの表現がよく使われたこの夏でした。気象庁の定義する『猛暑』は35℃以上の厳しい暑さを表現し、『酷暑』はそれ以上に厳しく生命の危険を感じさせる程の暑さの時、特に40℃を超える暑さの時に『使う言葉とする』事を検討し始めたとの報道がありました。あれ？酷暑って去年もその前も新聞やテレビのニュースで見たような…と思ったら、すでに日本気象予報協会が2022年に独自で猛暑より厳しい日々の事を酷暑と名づけていたそうです。ということは、気象庁は酷暑という言葉をおそらく正式な用語とは位置付けていなかった？

何はともあれ温暖化による気候変動をストップさせたいと思う気持ちは皆同じ。身近なところから出来る事をやっていきましょう。節電、節水、そして私たち緑の環境クラブが目指すCO2を減らし空気の浄化をしてくれて、かつ貴重な水を貯める豊かな森林の緑を保全する事、街の緑化を推進する事で道路に緑陰を作り、ヒートアイランド現象を少しでも減らす事、その事が長い目で見れば私たちの健康寿命を伸ばし、子どもたちの健全育成にも役立つ事、医療費の節約につながる事、つまり皆がお互いに健康で暮らしやすい国となる事、そんな大切な目標を忘れないようにしたいものです。さて、緑の環境クラブは9月20日に、キノコ観察会を開催しました。総勢69名が参加し、45種のキノコを採取し、市販のキノコや野菜をふんだんに使ったキノコ汁を食し、楽しく勉強しました。残るは北摂里山大学の植生調査支援と三田市立松ヶ丘小学校の環境学習支援と一般の方々を対象に椎茸の植菌体験イベント開催と、いつもの週2回の里山整備をしながら活動をいたします。みなさま、お身体に気をつけて、この秋も冬もお元気で過ごしてください。ご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

代表世話人 北田香菜子

令和7年度 上期の活動報告

★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 22日 作業延人数 139名(4/1 ~ 9/30) 三田市立有馬富士森林公園内Dゾーン(9.9ヘクタール)の里山放置林を保全・整備しています。毎週水・土曜日にメンバーが集まり、笹藪除去・枯松処理など、里山ふれあい森づくり作業を推進中です。

▲令和7年6月18日(水)10名のメンバーが集合

▲9月27日(土)尼崎信用金庫三田支店の皆さんと一緒に管理道脇の土手の笹刈り



▲令和7年5月21日(水)暑い陽差しの下、7名のレギュラーメンバーが集合 有馬富士森林公園エリアの笹藪・枯松処理に注力



★イベントの開催 9月20日(土) キノコ観察会(参加者55名・インストラクター1名・スタッフ11名・三田市2名 総勢69名参加) 有馬富士公園



★里山体験学習支援 5月27日(火)県立有馬高校:「里山管理体験」受講生20名、講師2名、緑の環境クラブ6名



キノコ観察会が終了して集合写真を撮りました。雨模様の日でしたが、何とか降らずに楽しくキノコ採集・学習をする事が出来ました。

★コロナ感染防止の為、例年通りには実施出来なかったイベント ①4月の春のありまふじフェスティバル ②春の山菜を食する会

令和7年度下期の活動予定

- 10月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの森林整備等 毎週おもに水・土曜日に活動
- 11月 松が丘小学校里山体験学習支援 講義:里山の自然について
- 10月4日 北摂里山大学支援(植生調査)
- 11月 松が丘小学校里山体験学習支援 里山散策:川除地区
- 10月18日 北摂里山大学支援(植生管理)
- 11月 松が丘小学校里山体験学習支援 里山管理体験学習
- 2月 椎茸菌打ち体験会